

教育広報

# 県北の教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所

福島市杉妻町5-75

電話024-521-7723

発行者 富田昭夫

## 「教育事務所に異動して」

県北教育事務所次長 橋本 一 司

教育事務所に参りまして、間もなく一年が経とうとしています。

仕事は何かと難しさがありますが、楽しみが一つ増えました。それは当事務所の生涯学習、県民カレッジ事業に参加でき、歴史への興味が満たされることです。6月の「前期県民カレッジ講座」では、昭和の地図を片手に福島市内、板倉神社、到岸寺等を尋ね、福島藩主や木村吉清が大森城から福島城に移った経緯を学びました。

数年前の南会津保健福祉事務所勤務時には、自宅と南会津との行き来に、街道側まで迫る山々を眺め、四季折々の新緑、紅葉、錦秋の風景を楽しみ、厳冬には雪の山林の幽玄さに感激しました。また、会津を舞台にした戦国時代の人物往来に思いを馳せ、歴史遺跡を尋ね歩きました。縁あって、旧田島町の教育委員である郷土史家と語る機会があり、伊達氏と郷土の豪族についての話を聞くことができました。

「中世、会津地方は恵日寺が一大勢力でした。政宗は蘆名氏討伐後、恵日寺が会津支配に障害と思われ焼きはらったのでしょう。蘆名時代、南会津は長沼氏が支配していましたが、蘆名氏滅亡後、政宗の家臣となり後に仙台に移りました。」

政宗は勢力を伸張する中で、恭順した武将の処遇もまた課題だったと思います。政宗方に内応し、蘆名氏滅亡の契機となった猪苗代城主猪苗代盛国には、厚遇の期待に反して、水沢金ヶ崎に移封し小国の領主として処遇しました。蘆名義広敗走後、政宗は居城を米沢から会津若松市（当時は黒川）に移しますが、翌年には豊臣秀吉の奥州仕置により岩出山に移封され、会津時代はわずか1年数ヶ月でした。

この会津時代に、豊臣氏から北条氏討伐に参戦要請があり、不本意ながら下野街道を大内宿まで行きますが、途中から引き返し越後路を經由して小田原に遅れて参陣しました。

秀吉の北条氏討伐後、政宗は相馬、会津、大崎等南東北を転戦する一地方武将から有力武将と共に大坂、京都上洛や朝鮮の役で九州の名護屋、朝鮮出兵など全国、海外にまで活動範囲が拡大します。

このような史実の中から教育に関わる思いがわいてきます。それは、交通手段が馬、駕籠の時代に、戦国武将を全国に駆り立てるエネルギー、ダイナミズムは何だろうかということです。推察するに、自家の勢力を拡張し、時の権力者豊臣氏、徳川氏から領地の安堵を図り、一族郎党、家臣、足軽家来にいたるまでの扶持をあてがい、生活を保障する矜持、宿命があったかと思えます。そして、この一家の命運を担う後継者を養成するため、息子たちに幼少の時から教育係、守り役をつけ、一家を挙げたしっかりした育成体制を作ります。政宗には虎哉禅師、家康には雪斎等、時には隣国から高僧を招聘し、儒教、漢籍を教え、武将としての精神、教養、臣下・民を思う心等をたたき込み、将としての器量、人格を形成したものと思えます。

今、少子高齢化が進んで子どもが少なくなり、団塊の世代がリタイアの時期を迎えています。教養、技術の蓄積があり、時間にも余裕のある人生経験豊富な高齢者が多数伏在します。先達がつくりあげた歴史が示すようにこの経験豊富な人たちが、子どもたちに人としての生き方を教え、鍛え、育てる仕組みが構築されれば日本の未来に希望がもてるのではなど考えるこの頃です。

平成21年度指導の重点全体構想

「生きる力」をはぐくむ
～学習指導要領の理念の実現～

うつくしま教育改革推進プログラム
～ふくしまの教育7つの約束～

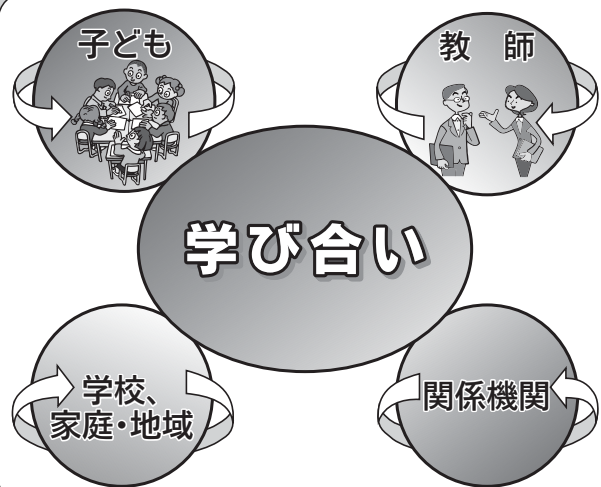
「学び合う」県北の教育

生きる力

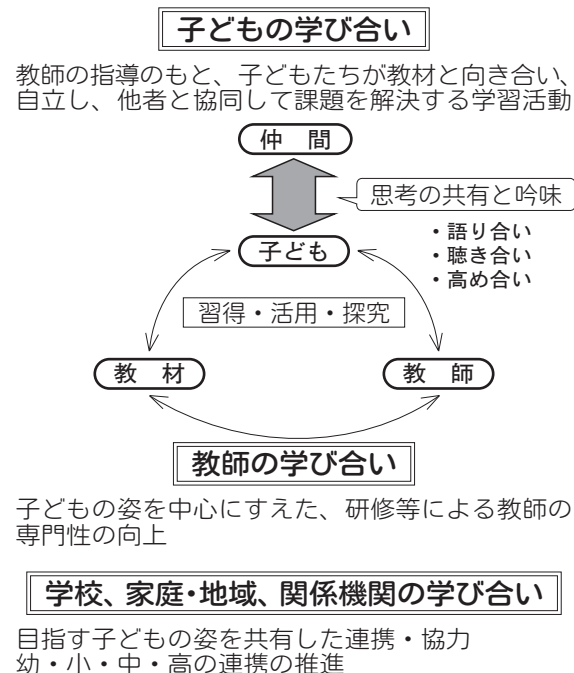
中教審答申において、言語の能力の重視や体験活動の充実により他者とのかかわりの中で子どもたちがともに生きる自信をもたせることの重要性が示されました。さらには「体験から感じ取ったことを表現する」「互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる」等の児童生徒同士の学び合いを重視した学習活動が具体的に示されています。
これまで推進してきた「つなぎ・伸ばし・かなえる県北の教育」の成果を踏まえ、さらに子どもを主体とした学習活動、教師、学校、家庭・地域、関係機関の学び合いを深めることにより、子どもたちの生きる力をはぐくんでいきたいと考えます。

「確かな学力」の向上

- ◎ 「確かな学力」の向上を目指すグランドデザインの改善
◇ PDCAを踏まえた柔軟かつ具体的な指標の設定
◇ 全国学力・学習状況調査結果を活用し、課題を明確にした手だての改善
◇ 長期、中期、短期の評価の工夫と学校関係者評価の活用
◎ 「確かな学力」の向上を支える基盤（環境）づくり
◇ 学級経営を土台としたよりよい人間関係の構築
◇ 聞き方・話し方を重視した学び合う集団の育成
◇ 学びの習慣を育てる「授業」「家庭学習」「朝の学習等」の学習サイクルの確立
□ 幼児の主体的な活動を促す計画的な環境構成
◎ 「確かな学力」の向上を目指す授業（保育）の充実
◇ 授業改善に生かしたいポイント
1 子どもの実態を踏まえた指導内容の重点化
2 子どもにとって学びがいのある学習課題の提示と把握のさせ方の工夫
3 子どもに自分の考えをもたせる場の設定
4 集団（小集団）での学び合いの重視
5 子どもの学びを生かしたまとめの工夫
◇ 子どもの姿に即した教材研究・分析の充実
◇ 「習得」「活用」「探究」を関連付けた学習活動の充実
◇ 体験的な学習や問題解決的な学習の重視
◇ 思考力・判断力・表現力等を育成するための言語活動の充実
◇ 少人数教育のよさを生かした指導の推進
□ 「言葉」と「体験」を大切にしたい指導と人間関係づくりの重視
◎ 「確かな学力」の向上を支える研修等の充実
◇ 子どもの姿に即した校内研修の活性化と授業の充実
◇ 基礎的な指導力（発問、板書、ノート指導、意図的指名等）の向上
□ 幼稚園教諭の専門性の向上

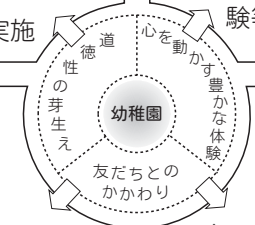


「学び合い」



豊かな人間性・社会性の育成

- ◎ 道徳教育の充実
◎ 道徳実践力の育成
◇ 要としての「道徳の時間」の確実な実施
◇ 道徳的価値の重点化や体験活動の推進
◇ 道徳教育推進教師を中心とした全教師による指導体制の確立
◇ 「道徳の時間」におけるのびのびと表現できる場の設定
◇ 「開かれた授業参観」の実施
◎ 特別活動の充実
◎ 望ましい集団づくりの充実
◇ 自発的・自治的な活動のための話し合い活動
◇ 自己実現を図るための進路指導
◇ 集団や社会の一員として、望ましい人間関係を形成するための指導
◇ 交流体験や文化的な体験、職場体験等を重視した活動
◎ 生徒指導の充実
◎ 積極的な生徒指導の推進
◇ 望ましい学級集団の形成
◇ 教育相談の一層の充実
◎ 不登校解消やいじめ根絶の推進
◇ 児童生徒の実態の的確な把握による早期発見、早期対応、早期解決
◎ 問題行動の未然防止と的確な対応
◇ 家庭、地域社会及び近隣校や関係機関との実効ある連携
◎ 特別支援教育の充実
◎ 一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実
◇ 教育的ニーズの把握と指導体制の整備
◇ 「個別の指導計画」に基づく実践
◎ 連携を生かした支援体制づくり
◇ 家庭との信頼関係に基づく一貫性のある支援
◇ 特別支援学校、関係機関等との連携



体力の向上と健康・安全

- ◎ 体育・健康に関する指導計画の工夫・改善
◇ 発達の段階及び学校課題に応じた指導内容の重点化
◎ 健康に関する指導の工夫
◇ 「食育」の推進及び「学校保健委員会」の活性化
◎ 体力の向上に関する指導の工夫
◇ 教科及び特別活動、教育課程外の活動をより一層関連させた指導の展開
□ 十分に体を動かす気持ちのよさを体験できる場の設定
◎ 安全に関する指導の工夫
◇ 「ライフスキル」及び「危険予測・危険回避能力」の育成

社会教育からの支援（地域で育つ子どもたち）

- 地域人材の育成と活用（学校支援ボランティアや家庭教育支援ボランティア等）
○社会教育施設での学習の場の提供（図書館、公民館・学習センター、体育館等）
○放課後の安全・安心な子どもの居場所づくり（放課後子どもプラン）

### 《福島県教職員研究論文入賞者紹介》

伊達市立富野小学校 教諭 齋藤 恵美

【入選】 道徳

心が深く揺さぶられる道徳の時間の工夫  
～ゲストティーチャーのよさを引き出す資料  
開発と授業展開の工夫～

福島市立福島養護学校高等部 教諭 大橋 昌弘

【入選】 特別支援教育

コミュニケーション手段習得過程の省察  
～Aとかかわり手Oの相互の関係性の変容に  
ついて～

福島市立鳥川小学校 教諭 齋藤 孝之

【入選】 特別活動

望ましい集団活動を通しての人間関係形成力の  
育成  
～「自分もよくて、みんなもいい」  
学級活動(1)の実践を通して～

二本松市立旭小学校 教諭 門馬 利子

【奨励賞】 理科

科学的な思考力を高める理科指導のあり方  
～イメージ図の活用と考えの交流を通して～

### 《優秀教職員紹介》

福島市立福島第一中学校 教諭 佐藤 裕子

音楽科の指導において優れた指導力を発揮し、  
授業の質的改善と実践的指導力の向上に取り組  
んだ。また、同校合唱部を全国大会金賞受賞へ  
と導いた。

二本松市立安達中学校 教諭 日下部 準一

理科教育の充実・発展に努め、校外で指導力  
を発揮した。また、同校特設の理科研究グルー  
プを継続的に指導し、科学技術論文「野口英世  
賞」に連続入賞へと導いた。

社会教育課

### 《学校・家庭・地域のよりよい連携を支援するために》

#### 地域人材による学校教育支援



第2回ボランティアプリセミナーでの読み聞かせ実演  
(福島市立杉妻小学校友愛ボランティア)

ボランティアプリセミナーでは、各学校や地  
域でボランティアに携わる方々に研修の場を提  
供しています。第2回は、読書活動ボランティ  
アの方々が集まり、福島市立杉妻小学校を会場  
に、読み聞かせ活動の参観や講話、情報交換な  
どが行われました。

今後も、「学校支援地域本部事業」や「体験活  
動・ボランティア推進センター事業」「放課後子  
どもプラン推進事業」等では、保護者や地域の  
人材を学校の教育活動や地域の教育力向上に積  
極的に活かせるよう、相互連携の推進に努めて  
いきます。

#### 地域人材による家庭教育支援

子どもの教育に対して第一義的な責任を有す  
る保護者に対して、命の大切さを伝える10代  
の性のち生きいきプロジェクト事業「親支援  
・性と生のワークショップ」や地域アプロー  
チ員がチームで子育ての悩みに応える「きめ細  
かな家庭教育支援プロジェクト事業」などを実施  
し、子どもたちに豊かな心が育成できるように  
取り組んでいます。

~~~~~お~知~ら~せ~~~~~

#### 「十七字のふれあい事業」

多数の「応募  
ありがとうございました。」

県北域内から四、三三六点の応募  
があり、最優秀賞一点、優秀賞三点、  
佳作一点、審査員特別賞一点、奨励  
賞二点が選ばれました。

最優秀賞

泣きやまぬ 弟だいて助けよぶ  
子守りする 小五の姉の たのもしさ

福島市立蓬萊東小学校

鈴木祥子さん・直子さん

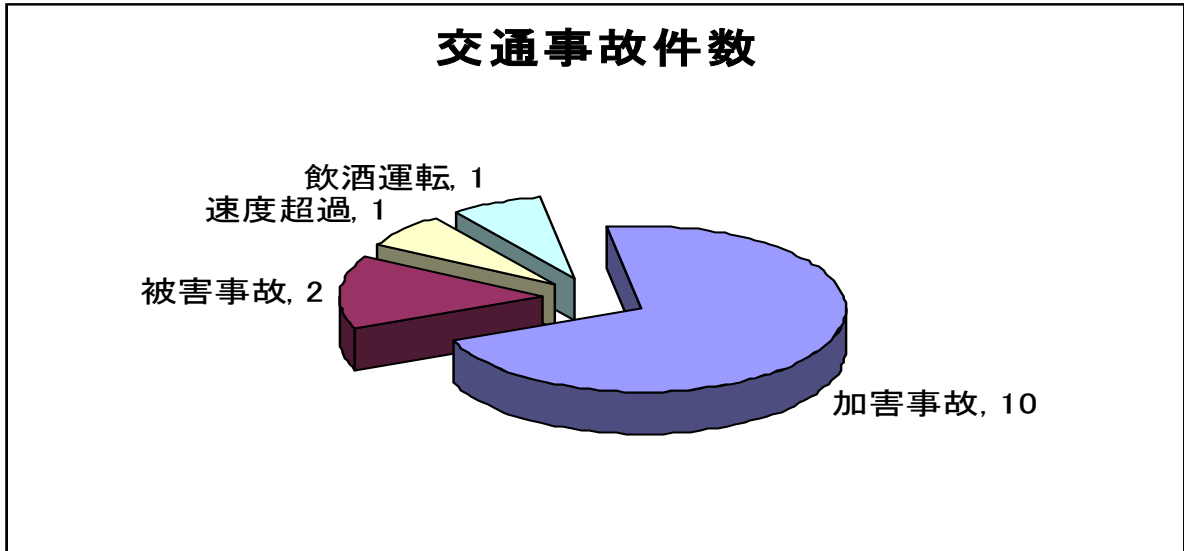
(子) (母)

なお、県北域内の入賞作品等につい  
ては、二月中にお知らせする予定です。



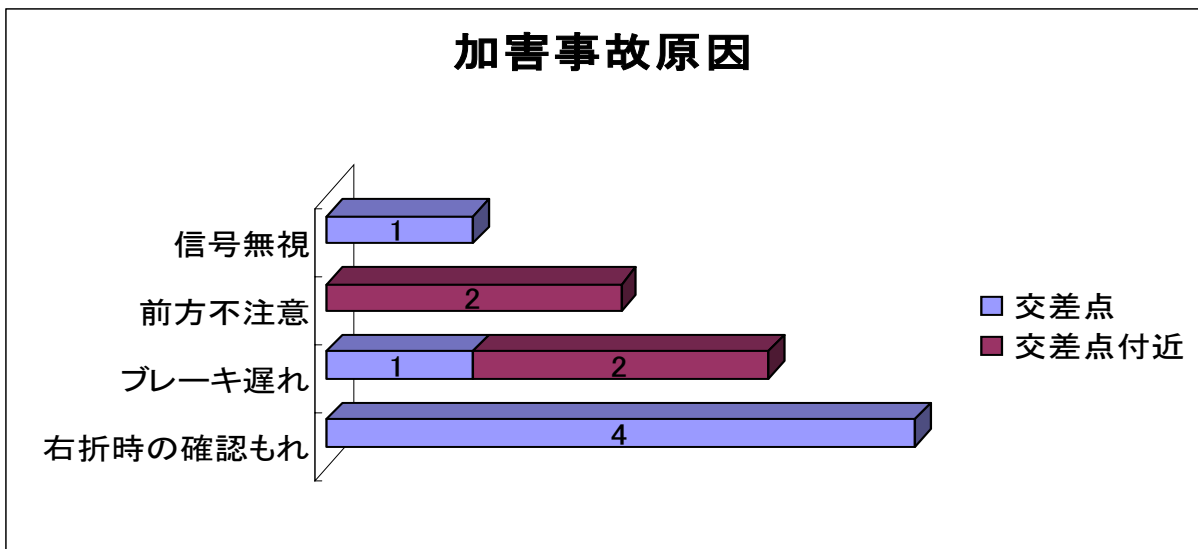
### ～ 積雪及び凍結路面時、交差点での運転は、要注意！～

下記の図は、今年度12月1日現在の県北域内で発生した交通関連の事故です。  
昨年度比、1件増の14件となっています。



加害事故は、昨年度比、2件増の10件となっています。

事故原因としては、**交差点内での右折時の確認もれ、交差点付近での前方不注意**がほとんどです。道路交通法では、「**交差点での徐行**」や「**横断歩道等における歩行者の優先**」が義務付けられています。冬季期間は、積雪や凍結による道路事情を十分勘案し、道路交通法を遵守した安全運転に努めてください。



各学校においては、校内服務倫理委員会の機能を十分活用し、不祥事及び学校事故の防止に組織的に取り組み、学校が明るく活力ある教育活動ができるようよろしくお願いいたします。